

3. ヴェトナム戦争

<前史>

- 1954年** ジュネーヴ停戦協定
ヴェトナムは北緯 17 度で南北分割、2 年後の統一選挙を規定
北……**ヴェトナム民主共和国**、**ホー・チミン**大統領 (1945 ~ 69 死)
南……ヴェトナム国、元首バオ・ダイ (1949 ~ 阮朝最後の保大帝)
- 1955年** **ゴ・ディンディエム** (南の首相、1954 ~)、バオダイを追放
ヴェトナム共和国を建国、大統領に就任 (~ 1963)
南北統一選挙無視、アメリカの支持を受け、共産主義勢力を弾圧。

<第 1 期>……南ヴェトナム内部での政府軍 vs 解放戦線

- 1960年.** 12 **南ヴェトナム解放民族戦線** 結成
北ヴェトナムの支援を受け、南ヴェトナム政府軍とゲリラ戦
1963 年、仏教徒の反政府運動高まる。6 月、僧侶が政府に抗議して焼身自殺。
これに対し大統領の弟の夫人が「単なる人間バーベキュー」と語る。→ ケネディ政権も激怒
- 1963年.** 11 南ヴェトナムで軍部クーデタ、ゴ大統領兄弟殺害。
→その直後、ケネディ暗殺。ジョンソン大統領昇格。

<第 2 期>……アメリカ軍直接介入

- 1964年.** 8 **トンキン湾事件**
2 日、湾を哨戒中の米艦を、北が (南の艦と誤認して) 魚雷攻撃。
4 日も米艦が攻撃を受けた (これは米側の捏造) とし、米軍、北ヴェトナム攻撃実施。
7 日、ジョンソン大統領、議会から事実上の戦争大権承認される
→ 11 月の大統領選挙でも再選。
- 1965年.** ²/₇ **北爆** 開始……米軍による北ヴェトナム空爆
.³/₈ 米軍、南ヴェトナム上陸 → 68 年までに 50 万人投入 (韓国軍など 5 万も)

<第 3 期>……北ヴェトナム軍の直接介入

- 1968年.**¹/₂₉ **テト攻勢** ……旧正月を期して北ヴェトナム軍の大規模反撃開始
サイゴンの米大使館も一時占拠される。短期間で戦死多数、米国に衝撃。
.³/₁₆ 米軍によるソンミ村虐殺事件 → 国際的批難

※米国内世論二分。徴兵拒否など反戦運動高まる

女性・少数民族・同性愛者など被差別者たちの運動 → 米国史そのものへの批判
若者のヒッピー化 = 社会的解体とも言うべき状況

- . ³/₃₁ ジョンソン大統領、北爆の部分的停止と大統領選不出馬を発表
⁴/₄ キング牧師暗殺、⁶/₅ ロバート・ケネディ (民主党大統領候補) 暗殺
- . 5 **パリ和平会談開始** (~ 73.1)
- . 10 **ジョンソン大統領、北爆全面停止**

- 11 共和党 ニクソン、大統領当選
過激化する反戦運動に対する白人保守層の巻き返し。

1969.11 ニクソン大統領の演説

「法と秩序の回復」を訴え「サイレント・マジョリティ」に対して支持を呼びかける。
徴兵でベトナムに派遣される下級兵士の多くが属する田舎のブルーカラー白人保守層は、
ヒッピーや、徴兵猶予される裕福な大学生・都市のホワイトカラー中心の反戦運動に反感。

1969年^{7/25} ニクソン・ドクトリン……「戦争のヴェトナム化」方針 (米軍削減へ)

同年 11 月 北ヴェトナム、ホー・チミン大統領死去

※ 中国の文化大革命→中ソの政治路線対立……1969. 3 ダマンスキー島事件 (国境紛争)

※ 米、中国と国交樹立……1972. 7 ニクソン訪中

→北ヴェトナムは中国と対立、ソ連と関係強化

<第4期>……戦域の全インドシナ拡大、しかしアメリカの全面的敗北

▶ カンボジア

1970. 3 ロン・ノル 将軍のクーデタ。共和制親米政権樹立

- 4 米軍・南ヴェトナム軍のカンボジア侵攻 (ホー・チミン・ルート遮断目的)

⇔ シアヌーク 前国王と、左翼クメール・ルージュの統一戦線

1975.^{4/17} プノンペン陥落、ロン・ノル亡命

1976. 1 民主カンプチア 成立……シアヌーク元首

- 4 シアヌーク元首辞任。ポル・ポト 首相就任

(クメール・ルージュ = カンボジア共産党政権)

▶ ラオス

1971. 1 米軍・南ヴェトナム軍のラオス侵攻 (目的は同上) ⇔ 左翼パテト・ラオ
同年 3 月には米軍撤退 → 1973.2 ラオス和平協定

1975. 12 ラオス人民民主共和国 (パテト・ラオ = ラオス人民革命党の社会主義政権) 成立

▶ ヴェトナム

1972. 5 米軍による北爆再開

和平交渉を有利に進めるための無差別爆撃。北を戦闘継続不能に。

1973. 1 パリ和平協定調印……米、北、南、解放戦線臨時政府の4者

米軍は3月末までに撤退 → 北ヴェトナムは南に対し攻勢に出る

1974. 8 ニクソン大統領辞任 (← 72 ウォーターゲート事件)

フォード、大統領に昇格。オイルショック等で米国はヴェトナムへの興味低下

1975年. 3 北ヴェトナム軍、南に対して全面攻撃 (ホー・チミン作戦)

- 4/30 サイゴン陥落。南ヴェトナム無条件降伏・崩壊。米軍敗退で戦争終結。

1976年. 7 南北ヴェトナム統一。ヴェトナム社会主義共和国成立

(サイゴン市はホーチミン市と改称)

※インドシナ3国の社会主義化。世界最強国アメリカの敗北、全てが裏目に。

<その後のインドシナ情勢>

▶ カンボジア・ヴェトナム戦争 & 中越戦争

中国文化大革命後のソ連と中国の対立 →インドシナにおけるその代理戦争

（ヴェトナム……米中接近を中国の裏切りと見なし、ソ連と接近。
ソ連製近代兵器でヴェトナム戦争勝利
カンボジア……ポル・ポト率いるカンボジア共産党は中国文革派＝農村中心主義

1976. 4 ポル・ポト、民主カンブチアの首相に就任
都市の知識人弾圧、農村への強制移住、大量虐殺



1978. 12 カンボジア救国民族統一戦線結成、議長ヘン・サムリン
(彼も共産党員だったが、ポル・ポトに迫害されヴェトナムに逃亡)
→ヴェトナムがこれを支援し、カンボジア侵攻。ポル・ポト政権を倒す。

＝カンボジア・ヴェトナム戦争

1979. 1 カンボジア人民共和国 成立
親ヴェトナム社会主義政権、人民革命評議会議長 ヘン・サムリン
(カンボジア人民革命党)

1979. 2 ポル・ポト支持の中国がヴェトナム北部侵入するが翌月撤退＝**中越戦争**

▶ カンボジア内戦

ヘン・サムリン政権はヴェトナム軍駐留で傀儡と見なされ、国際的承認を得られず。
79.9 国連総会は、ポル・ポトの民主カンブチア政権をカンボジア代表と承認。

1982. 7 反ヴェトナム3派による**民主カンボジア連合政府**

シアヌーク大統領

国王 1941-55、王位を父に譲り政治家として政治団体「サンクム」を率い翼賛体制を築く。
父王の死後は国家元首となる(殿下の称号)。容共的君主として米国に疎まれ、ロン・ノルのクーデタで元首解任。中国へ。かつて弾圧していたポル・ポトを嫌っていたが、中国の毛沢東や北朝鮮の金日成に説得され、ポル・ポトと結び民主カンブチア樹立。
しかしまもなく元首辞任した後は、ポル・ポト政権によって幽閉状態にあった。

キュー・サムファン副大統領

ポル・ポト政権で、シアヌーク元首辞任後の元首(国家幹部会議長)。三派内ポル・ポト派代表。

ソン・サン首相

1970年以前はシアヌーク元首のもとで首相だった。ロン・ノルのクーデタ後、パリ亡命。
右派的で、ポル・ポト派を含む三派連合には消極的だった。連合政府内では、親米・親タイ勢力の代表として、旧ロン・ノル派を受け継ぐ形となった。仏教自由民主党。

→**カンボジア内戦**……民主カンブチア三派連合政府 VS ヘン・サムリン政権

▶ 和平へ

- 1985 ソ連、ゴルバチョフ書記長のペレストロイカ開始
- 1986 ヴェトナムも「**ドイモイ**（刷新）」政策へ
特に農業復興。個々の農家が農業形成の基本単位であることを認め、社会主義脱却。
1989. 5 カンボジア人民共和国がカンボジア国に国号変更（5月）
ヘン・サムリン国家評議会議長、フン・セン首相
カンボジア人民革命党も、カンボジア人民党に改称
1989. 9 ヴェトナム軍、カンボジア撤退
1990. 9 カンボジア最高国民評議会（SNC）発足
ヘン・サムリン政権6名、三派連合6名、シアヌーク議長
1991. 10 カンボジア和平協定（パリ）……国内4派が調印、内戦終結
1992. 3 国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC 明石康事務総長）、実働開始
- 1993.4-6 国連監視下で総選挙（これに日本も前年成立のPKO協力で参加）
しかしポル・ポト派は選挙をボイコット、辺境地域で抵抗
- 選挙結果……王党派58議席、カンボジア人民党51議席、ソン・サン派10議席
憲法制定議会議長ソン・サン
1993. 9 憲法制定。シアヌーク国王再即位。**カンボジア王国**。
ラナリット第一首相（シアヌーク次男）、フン・セン第二首相
→97年、ラナリット外遊中にフン・センがクーデタで単独首相に
- 1998 ポル・ポト死去。キュー・サムファン投降でポル・ポト派平定。
（共産党解体）

2015年までの状況

- ・シアヌーク……2004国王退位。息子のノロドム・シハモニ即位（～現）。2013年シアヌーク死去。
- ・ソン・サン……憲法制定議会議長の後、王国最高顧問。2000年死去。
- ・フン・セン……1998年以来、現在まで首相、人民党党首。
- ・ラナリット……1998～2006、国民議会議長議長。その後政界引退。
- ・ヘン・サムリン……しばらく表舞台に立たず。国民議会副議長（1998-2006）、2006国民議会議長（2006～現）
- ・キュー・サムファン……2007年、ポル・ポト政権時の人道に反する罪で訴追、2014年に終身刑判決

ヴェトナム、ラオスとも86年頃から経済は市場原理導入するが
社会主義政党の一党独裁は変わらず（国名も1975,76年以来のまま）